

科目名	科学技術文章	英文表記	Science and Technology Expression	2010 年 9 月 6 日		
教員名：澤井 万七美 技術支援：-				修正		
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	4 年	必修	履修	1	講義	後期
目 標	1 論理的な思考とは何かを知る。 2 論証方法のさまざまなパターンを習得する。 3 基礎的な科学技術文章の書き方を習得する。					
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	全プログラム
		◎		○	JABEE プログラム教育目標	
授業概要、 方針、 履修上の注意	1 広い意味でのコミュニケーション能力に磨きをかけることを最も重視する。他者の話をよく聴く態度・他者によりよく伝えられる記述の仕方とは何か、常に意識すること。 2 授業内での自己添削・相互採点などのプロセスも、評価の対象とする。					
評価方法	授業内の小テスト 10%、提出物などの平常点 40%、定期試験 50%。					
教科書・教材	『知的な科学・技術文章の書き方』（中島利勝・塚本真也著、コロナ社）『知的な科学・技術文章の徹底演習』（塚本真也著、コロナ社）、教員自主編成教材。					
参考図書	授業内で適宜指示する。					

### 授 業 計 画

授 業 項 目	時 間	授 業 内 容
1. ガイダンス	2	授業の進め方についての説明／表現の基本ルール
2. 科学技術文章のルール(1)	2	語句の基本ルール
3. 科学技術文章のルール(2)	2	文の基本ルール
4. 科学技術文章のルール(3)	2	文章の基本ルール(1)
5. 科学技術文章のルール(4)	2	文章の基本ルール(2)
6. 科学技術文章の構成(1)	2	基本的な型
7. 科学技術文章の構成(2)	2	モデル作成
8. 論証(1)	2	論証とは
9. 論証(2)	2	さまざまな論証方法
10. 論証(3)	2	論拠に関する注意点
11. 論証(4)	2	論証の実践（課題文作成）
12. 論証(5)	2	論証の実践（推敲）
13. 科学技術と文章表現(1)	2	優れた科学技術文章とは
14. 科学技術と文章表現(2)	2	今後の科学者・技術者のあり方
15. まとめ	2	これまで学んだ内容の確認
期末試験	[1]	
学習時間合計	30	実時間 25

学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）  
 通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。